

ペトリ
35Eの使い方



目次

おもな性能	3
各部の名称	4 - 7
付属の水銀電池の入れ方	8
バッテリーチェッカー	9
フィルムの入れ方	10 - 11
フィルム巻上げレバー	12
カメラの構え方	13
露出は	14
ピント調節	15
フィルムの巻戻し	16
フラッシュ撮影	17 - 18
アクセサリー	19

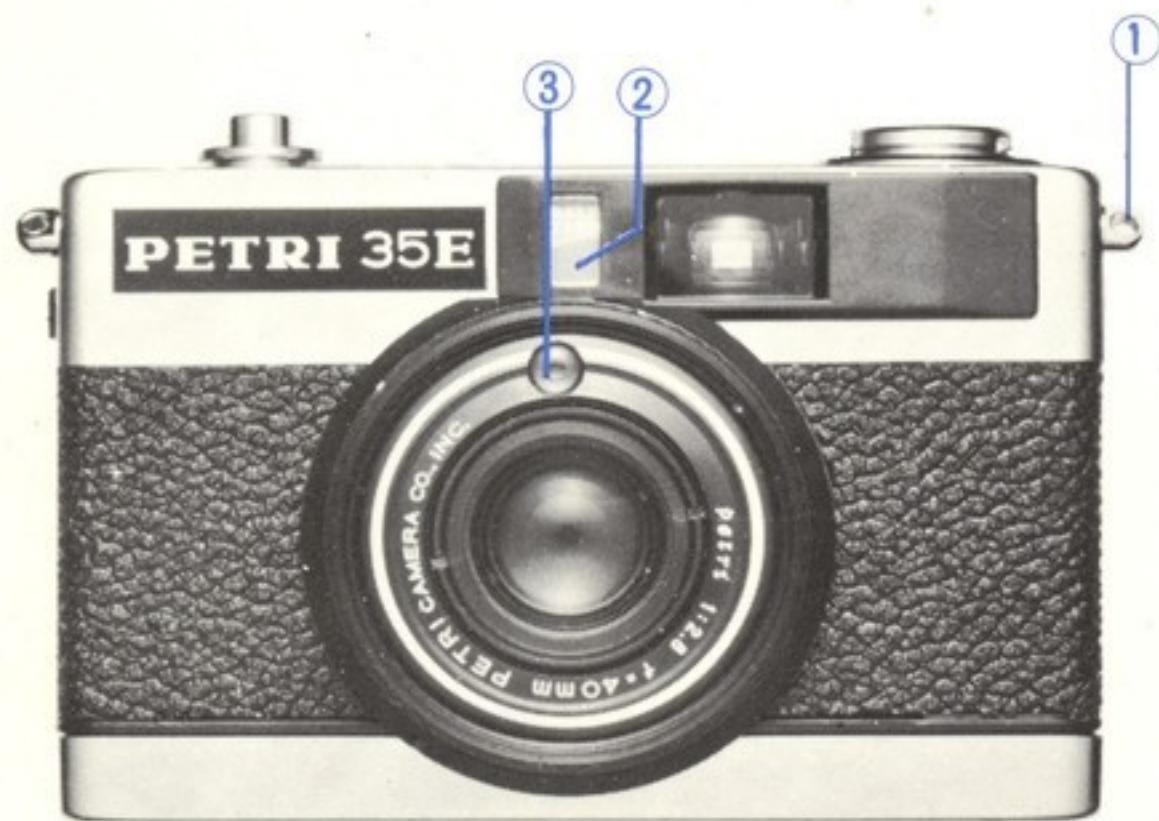
おもな性能

型式／プログラムEE式35ミリカメラ
使用フィルム／バトローネ入り35ミリフィルム
12枚 20枚または36枚撮り
画面サイズ／24×36ミリ 35ミリフルサイズ
レンズ／ベトリ40ミリF2.8 3群4枚構成
コンビネーションコーティング
シャッター／ベトリプログラムシャッター
 $\frac{1}{30}$ ～ $\frac{1}{200}$ 秒
ピント合わせ／目測式4点フォーカス
ファインダー／ブライツフレーム0.45×
視差補正標・露出警告マーク付
EE露出計／CdS使用プログラムEE
レンズ部に受光窓有 EE連動範囲ASA
100でEV8 ($\frac{1}{30}$ 秒・f2.8)～EV16.7
($\frac{1}{200}$ 秒・f22) ASA目盛25～500
DIN目盛15～28

水銀電池／H-Cタイプ1.3V
フラッシュ／X接点(シャッター速度 $\frac{1}{30}$ 秒)
フラッシュ撮影はガイドナンバー目盛による
フラッシュオートマチックシステム コードレス・シンクロ接点
フィルム装てん／シンプルローディング
フィルム巻上げ／カメラ背面のレバー式一作動
巻上げ(水銀電池スイッチ兼用)
その他／自動復元順算式フィルム枚数計 バッテリーチェッカー
寸法・重さ／101×64×58ミリ 390グラム

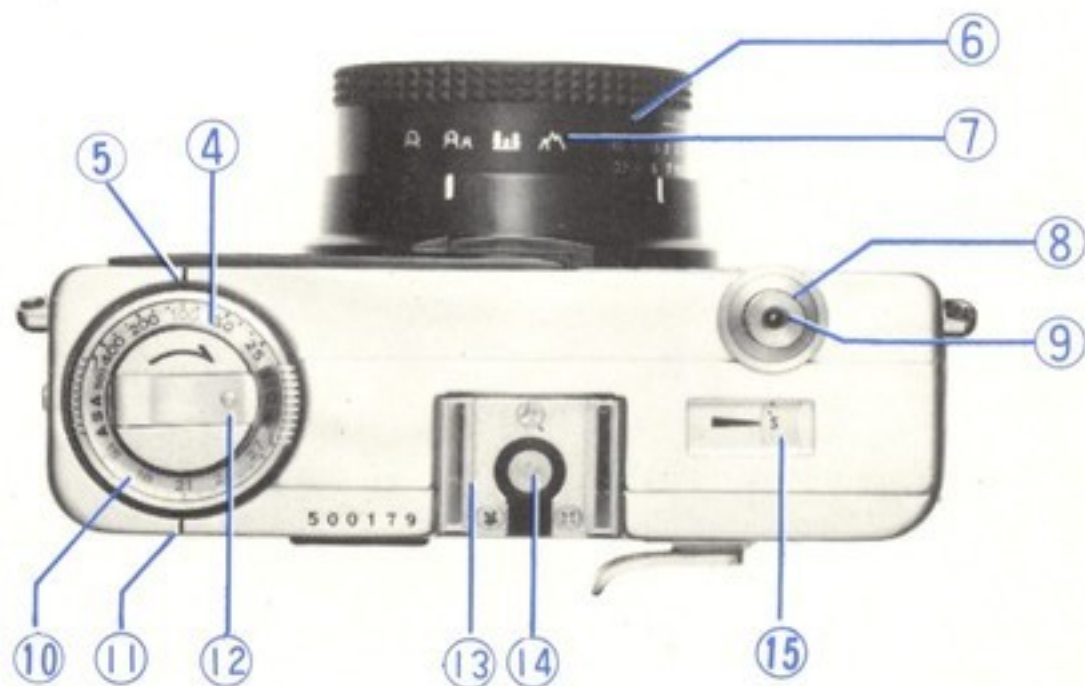
カメラ ¥18,800 ケース ¥1,000

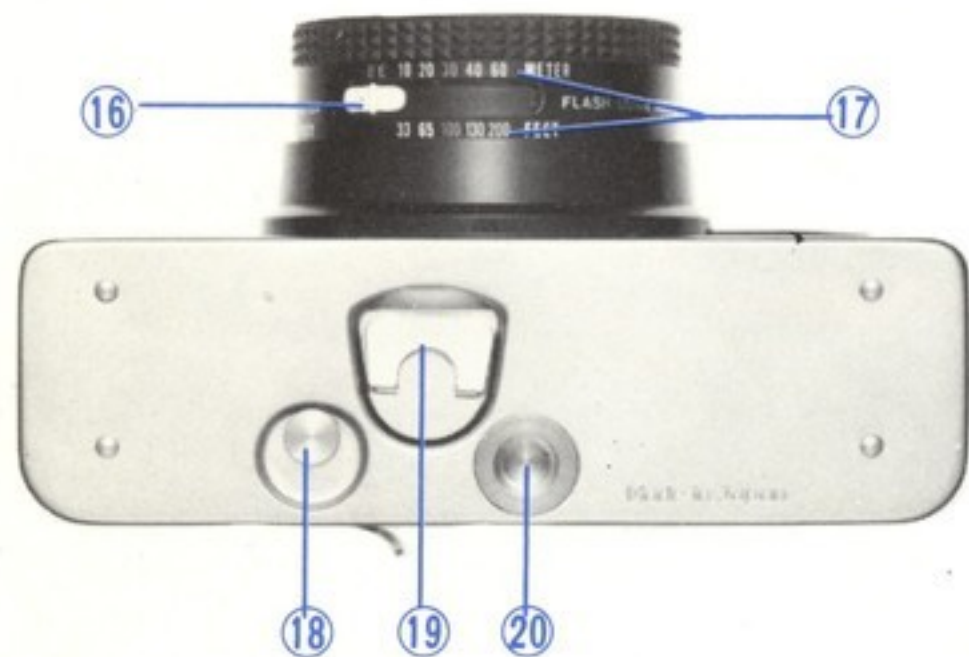
各部の名称



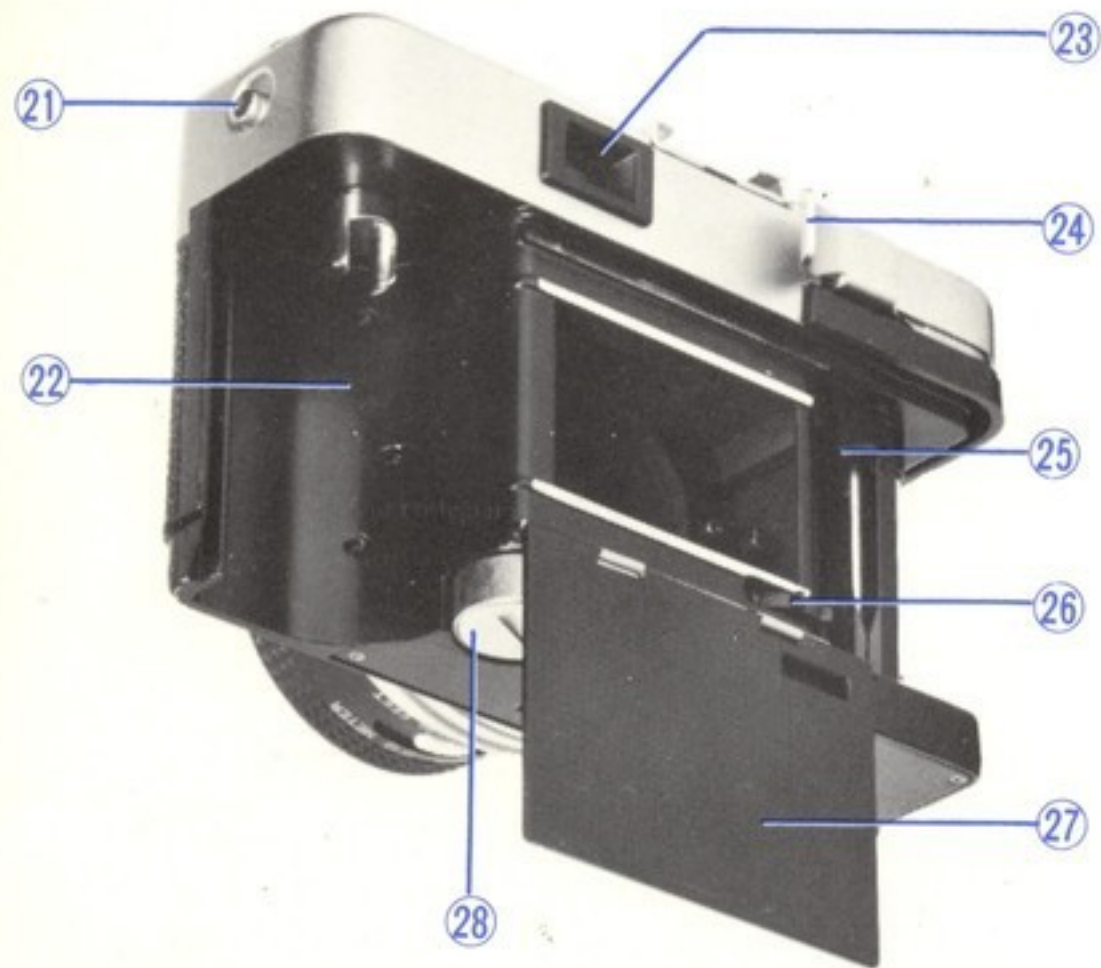
- ① 吊り環
- ② バッテリーチェック指針
- ③ E E 露出計受光窓

- ④ ASA 目盛
- ⑤ ASA 指標
- ⑥ フラッシュ撮影の距離目盛
- ⑦ 距離目盛
- ⑧ シャッターボタン
- ⑨ レリーズ差込み
- ⑩ DIN目盛
- ⑪ DIN指標
- ⑫ フィルム巻戻しクランク
- ⑬ アクセサリーシュー
- ⑭ コードレスシンクロターミナル
- ⑮ フィルムカウンター



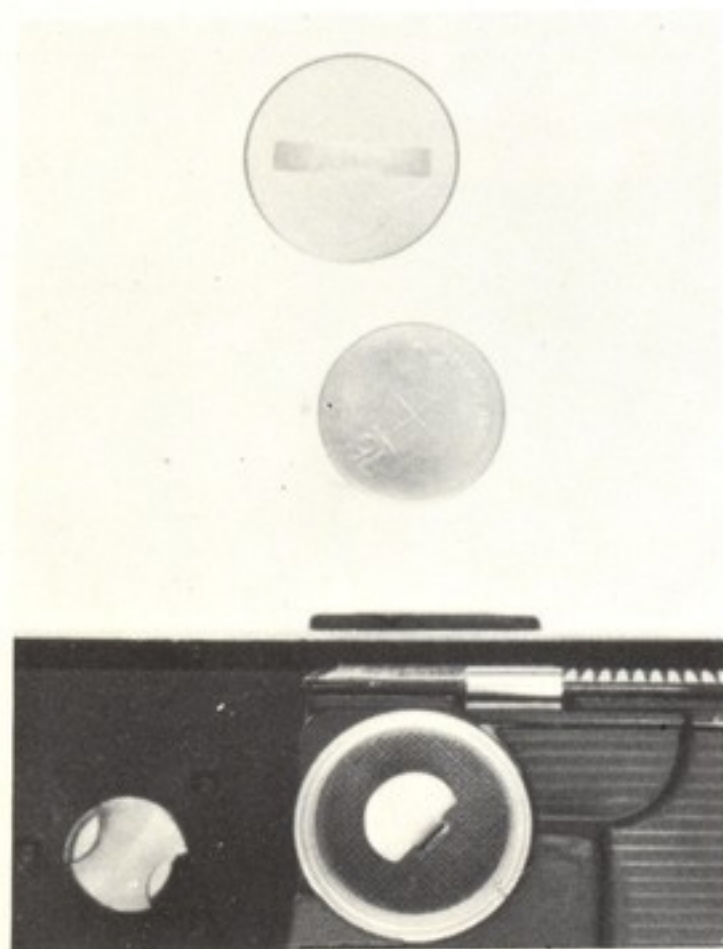


- ①⑥ EE・フラッシュ切換レバー
- ①⑦ ガイドナンバー目盛
- ①⑧ フィルム巻戻しボタン
- ①⑨ 裏ぶた開閉キイ
- ①⑩ 三脚穴



- ②① バッテリーチェックボタン
- ②② フィルム室
- ②③ ファインダー
- ②④ フィルム巻上げレバー
- ②⑤ フィルム巻取り軸
- ②⑥ スプロケット
- ②⑦ プレッシャープレート
- ②⑧ 水銀電池格納室

付属の水銀電池の入れ方



水銀電池はE E機構を働かせる大切な役目を持っています。

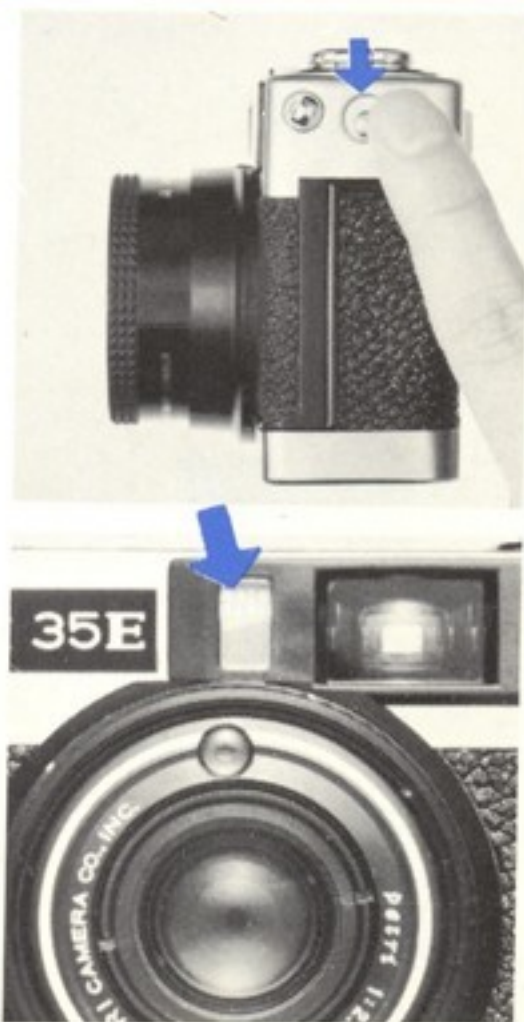
裏ふたを外し、水銀電池格納室のふたを10円硬貨などで開けます。付属の水銀電池を、ふたの裏に記されているように+・-を正しく入れてください。これが逆ですと、E Eが正しく働きません。

バッテリーチェッカー

EEを働かせる水銀電池は、約1年たつと性能がドロップしてきます。撮影する前にバッテリーチェッカーで、水銀電池の損耗度を確認してください。

ボディ横のバッテリーチェッカーを押したとき、ファインダー横のバッテリーチェック指針が、青の範囲内までふれれば、その電池は健在であり、赤の範囲にあるときは電池が消耗していることを示します。このテストはフィルムを巻上げる前でも後でも、どちらでもできます。

消耗が認められたときは、水銀電池H-Cタイプの1.3Vと交換してください。



フィルムに入れ方



1

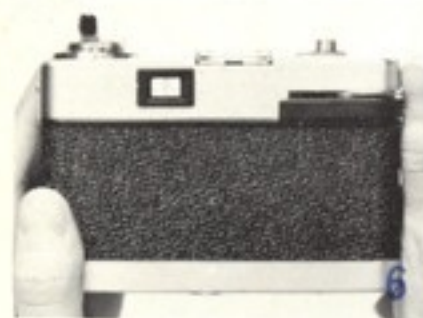
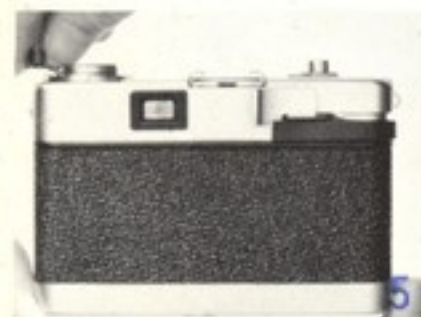
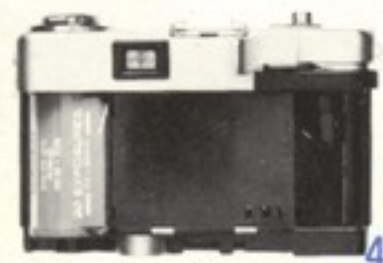


2



3

1. 裏ぶた開閉キイ（各部の名称参照）を起して回し、下方にずらしながら裏ぶたを外し、プレッシャープレートを開きます。
2. フィルムをフィルム室に入れ、
3. フィルムの先端を、フィルム巻取り軸の溝（4ヶ所あるそのどれにでも）に差しこみ、そのままカメラ底部側の溝の狭い部分に引きこみます。
パトローネを軽く押え、フィルム巻上げレバーを巻上げ、パーフォレーション（フィルムに刻まれた穴）がスプロケットの歯車と噛み合うのを確認したら



4. プレッシュャープレートを閉じ、裏ぶたを閉じます。この場合ボディの端からスライドさせると閉めにくくなりますので、中間から溝に合わせてスライドさせます。ボディとピッタリ合ったら開閉キイを元に戻します。
5. 巻戻しクランクレバーを起し、矢印の方向に軽く回して、フィルムのタルミをとり、
6. 巻上レバーを巻上げ、シャッターを切る操作を、2回繰り返します。このとき巻戻しクランクが、矢印と反対方向に回っていたら、フィルムは正しく送られています。

フィルムの出し入れは、直射日光を避けて行ないます。

フィルム巻上げレバー

フィルム巻上げレバーに親指をかけ、レバーが止まるまで回すと

1. 水銀電池のスイッチが入り、EE機構が作動状態となります。
2. フィルムが1コマ分送られます。
3. フィルム枚数計も1コマ分進みます。
4. シャッターが同時にセットされます。

●フィルムが巻上げられていないと、EE機構、シャッターは作動しません。

フィルム枚数計の数字は、撮影枚数を表わします。目盛は1の他は偶数表示になっており、中間の黒点は奇数枚数を示します。20と36のオレンジ色数



字は、20枚撮り、36枚撮りフィルムそれぞれの撮影終了を意味します。

この枚数計は自動復元式ですので、裏ふたを外すと自動的にSに戻ります。

カメラの構え方

「どうもシャープに写らない」という原因を追求してみると、ほとんどがカメラ側の故障ではなく、カメラブレといわれます。正しくカメラを構え、カメラブレを起さないよう気をつけてください。

それには、カメラを写真のように両手で安定させ（この場合、手にあまり力を入れると、かえってカメラブレを起します）、カメラの背面を、顔の一部に密着させ、指の腹で静かにシャッターを押すようにします。



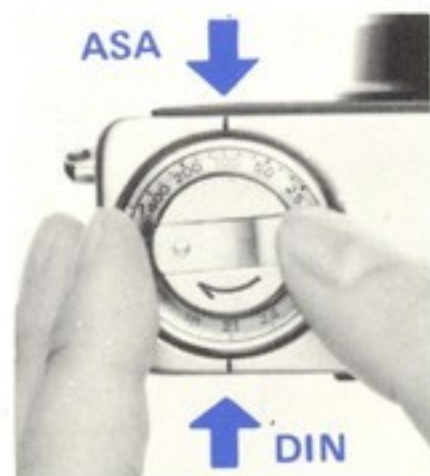
露出は……………

ペトリ35Eには、絞り目盛もシャッター速度目盛もありません。あるのはEEマークとフラッシュ撮影に必要なガイドナンバー表だけです。

露出はいっさいカメラが計算します。使用フィルムのASA感度とカメラのASA目盛を合わせるだけです。シャッター速度 $\frac{1}{30}$ ～ $\frac{1}{200}$ 秒、絞りf2.8～f22の範囲の中で、カメラがその被写体に合ったいちばんいい組み合わせを見付け、自動的にセットします。

EEの作動範囲はASA100（SSフィルムやネガカラーのほとんどがこの感度）でEV8（f2.8・ $\frac{1}{30}$ 秒）からEV16.7（f22・ $\frac{1}{200}$ 秒）です。

この範囲を越えた場合は、ファインダー内に赤マークが現われ、露出の過不足を警告します。不足の場合はフラッシュ撮影に、オーバーの場合にはNDフィルターで調節してください。なお本機はフィルターをかけても、EEは正しく働き、露出倍数を計算するわずらわしさがありません。

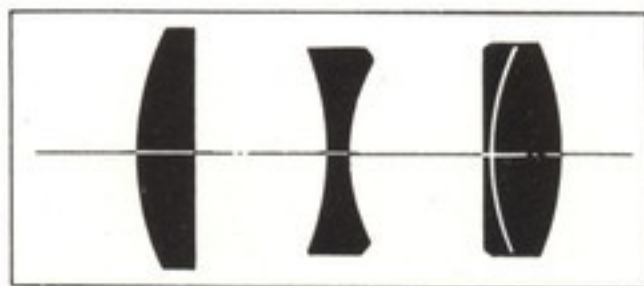


ピント調節

40ミリF2.8レンズは、被写界深度（ピントの合う巾）が深く、目測による誤差をカバーし、充分シャープな像を結びます。

レンズ・カバーに刻まれた距離指標に、目測した距離目盛を合わせます。ピント合わせに時間をとられることがなく、迅速な撮影が楽しめるわけです。

-  ... 3.5 ft. (1.0m)
-  ... 5.0 ft. (1.5m)
-  ... 10.0 ft. (3.0m)
-  ... ∞

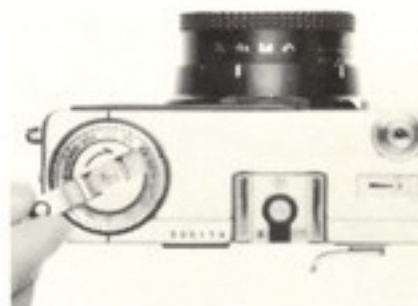
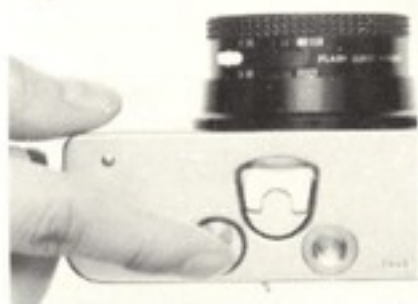


フィルムの巻戻し

撮影が終わったら、再びパトローネにフィルムを巻戻します。

カメラ底部の巻戻しボタンを押しながら、カメラ上部のフィルム巻戻しクランクレバーを起し矢印の方向に回します。フィルムが完全に巻戻されると急に軽く感じられます。

フィルムを取出す際、裏ふたと一緒に落ちないように、カメラレンズ部を下に向けて裏ふたを外すようにします。また、撮影済みのフィルムは、できるだけ早く現像に出してください。



フラッシュ撮影

暗い室内や夜、撮影されるときはフラッシュをお使いください。

ペトリ35Eはコードレスタイプのフラッシュガンのみ使用可能です。アクセサリシューに差しこむだけで結構です。

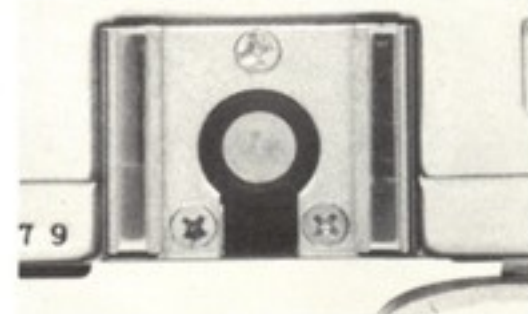
露出は使用バルブ又は使用ストロボのガイドナンバーと、カメラのガイドナンバー目盛を合わせるだけです。例えば、ガイドナンバー40のバルブを使うときは、カメラのガイドナンバー目盛も40にします。ガイドナンバーが端数の場合は4捨5入してください。

また、本機のガイドナンバー目盛は、30が



グリーン、40がブルー、60が赤に色分けされています。この色分けは、距離目盛の前に同じく3本の線によって表わされています。これは、ブルー表示のガイドナンバーを持つバルブを使ったときは、ブルーの線内にある距離、すなわち2メートル以遠で撮影することが望ましいという意味です。10、20は距離目盛の全域で撮影することができます。

本機のシンクロ接点はX接点で、M級、F級のバルブ及びストロボが使えます。シャッター速度は $\frac{1}{30}$ 秒一定になっています。



アクセサリ

フード



専用カブセ式45ミリ 丸型止ネジ式
¥1,500(ケース付)

フィルター



金属枠付 ネジ込式40.5ミリ
白黒用……………¥1,500
カラー・UV……………¥1,800



ペトリカメラ株式会社

本社	東京都足立区梅田 7-25-12	TEL. 887-1111	〒123		
東京営業所	東京都千代田区九段南 2-4-6	TEL. 261-9981	〒102		
札幌営業所	札幌市中央区北4条東 2-8-6	札幌ユニオンハイツ2階	TEL. 221-2008	〒060	
仙台営業所	仙台市東7番丁 44-1	ち産マンション第3	仙台2階	TEL. 93-0221	〒980
横浜営業所	横浜市中区長者町 2-5-4	白井ビル 3階	TEL. 681-7145	〒232	
名古屋営業所	名古屋市中区栄 3-11-9	塩屋ビル 5階	TEL. 251-5691	〒460	
大阪営業所	大阪市西区北堀江上通り 1-50	東海ビル 3階	TEL. 541-5096	〒550	
福岡営業所	福岡市博多区上川端町 14-13	TEL. 291-0653	〒812		
沖縄センター	沖縄県那覇市松山 1-1-11	TEL. 68-6109	〒900		